

議会答弁実録

会期： 平成 20 年 2 月予算特別委員会 会派： 05 自民
日程： 2008/03/14 質問者： 石橋 良三
発言順： 質問番号： 2-(3)-イ
担当部局： 25 福祉保健部, 50 教育委員会 答弁者： 01 知事

タイトル: 子どもの健全育成について

問:

「子どもの権利」の理論は、戦争や貧困で家庭が崩壊し、医療や教育が受けられないばかりか、親が子どもを売ったり、売春させたりする状況の中で、子どもを守るために考えられたものである。

我が国が、発展途上国や戦乱の巷にある国々と同じような「子どもの権利」を、強調しなければいけない状況にあるとは思えないのである。

私は、子どもの健全育成を目指すのであれば、健全な家庭づくりへの支援や大人の子育てへの意識改革に取り組むべきであると考えているが、知事の認識を伺う。

答:

子どもの健全育成にとって、温かい家庭は、子どもの心を豊かに育む根本であり、家族のふれあいや親子の対話を増やし、愛情を持って子どものしつけや健康づくりに努め、ゆとりを持って子どもの成長を見守ることが必要でございます。

このため、

- ・毎月第3日曜日を「家庭の日」とした、家族の対話やふれあいを促進する取組への支援
- ・「あいさつ・声かけ運動」の推進などによる、家族・地域の絆を強める県民意識の醸成
- ・小児科医やNPO等と連携した「親育ち」の応援や「家庭教育手帳」の配布による家庭教育への支援に、取り組んできたところでございます。

さらに、来年度は、教育委員会におきまして、親の役割や責任を自覚し、自信を持って子育てに取り組むことができますよう、「家庭教育応援プロジェクト事業」を実施することといたしております。

今後とも、これらの事業を積極的に推進することにより、子どもと子育て家庭を県民一人ひとりが支える社会づくりに取り組んで参ります。